



交付運用報告書

スパークス・M&S・ ジャパン・ファンド

愛称 **華咲く中小型**

追加型投信／国内／株式

第9期(決算日 2016年1月25日)

作成対象期間(2015年1月27日～2016年1月25日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・M&S・ジャパン・ファンド』
は、このたび、第9期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・日本中小型・
マザーファンド受益証券を通じて、日本の上場株式
のうち中小型株に投資し、信託財産の中長期的な成
長を目標に積極的な運用を行うことを基本としま
す。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し
上げます。

※ 2014年12月の決算後に作成するファンドより、交付運
用報告書と運用報告書(全体版)に分冊化されました。
本書は「交付運用報告書」です。

< お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都品川区東品川二丁目2番4号 天王洲ファーストタワー16階
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「スパークスの投資信託」より「投資信託一覧」の当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

※ 本交付運用報告書の最終ページのあとに「スパークス・アセット・マネジメント株式会社からのお知らせ」を掲載しております。

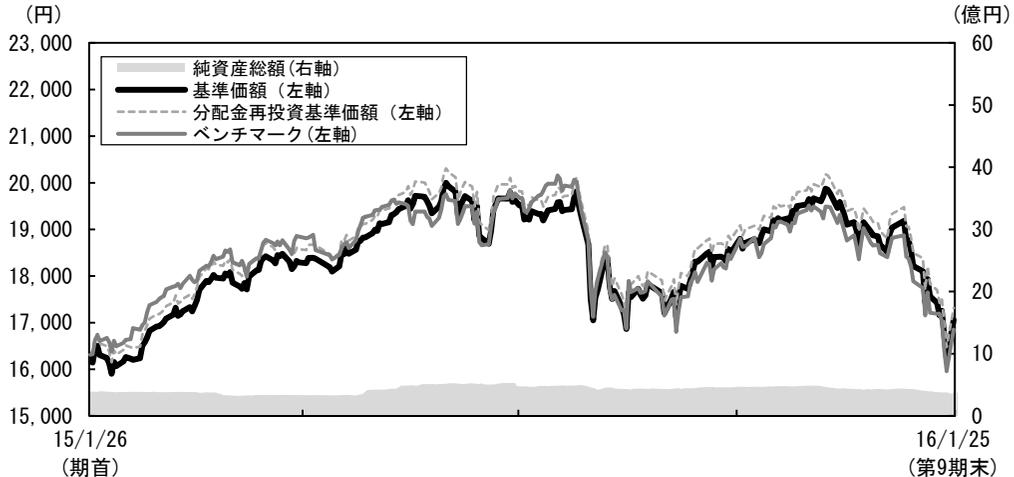
第9期末 (2016年1月25日)	
基準価額	16,956円
純資産総額	374百万円
第9期 (2015年1月27日～2016年1月25日)	
騰落率	6.9%
分配金合計	300円

(注) 騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

運用経過

■ 基準価額等の推移 (2015年1月27日～2016年1月25日)

基準価額は期首に比べ6.9%(分配金再投資ベース)の上昇となりました。



第9期首 : 16,145円

第9期末 : 16,956円(既払分配金300円)

騰落率 : 6.9%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ ベンチマークは「ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。
- ※ ベンチマークは期首(2015年1月26日)の基準価額に合わせて指数化しております。

■ 基準価額の主な変動要因

当期は6月までは日本株式市場全体が上昇し良好な運用環境で推移しましたが、7月以降、中国の景気減速懸念や、世界的な金融市場の混乱を背景とした一時的な調整局面となりました。その後米国利上げ観測の高まりを受け円安ドル高が進行、一旦株式市場は上昇したものの、中国の景気減速懸念と商品市況の下落による世界的なリスクオフを背景に、基準価額は下落基調となりました。

このような環境下、ボトムアップ・リサーチを通じて株価と実態価値が大幅に乖離していると判断される企業に投資を行なった結果、ファンドの基準価額の上昇率は市場の上昇率を上回る結果となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

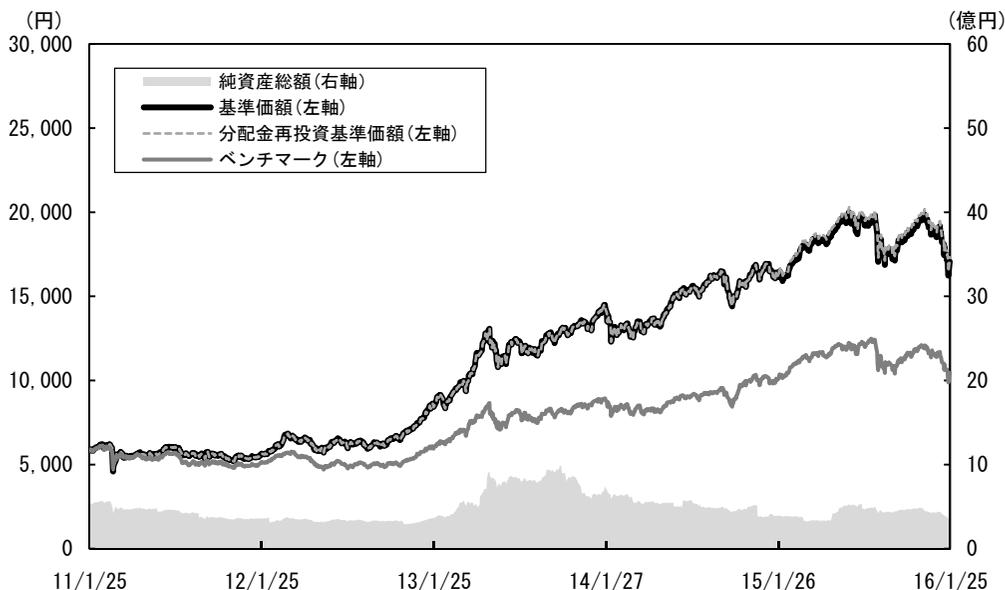
項 目	第9期 2015年1月27日～2016年1月25日		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	371円 (218) (139) (14)	2.01% (1.18) (0.75) (0.08)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 ・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	30 (30)	0.16 (0.16)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・有価証券等を売買する際に発生する費用
(c) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用)	20 (16) (4)	0.11 (0.09) (0.02)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ファンドの監査人等に対する報酬および費用 ・法定書類等の作成、印刷費用
合 計	421	2.28	
期中の平均基準価額は18,431円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2011年1月25日～2016年1月25日)



- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ ベンチマークは2011年1月25日の基準価額に合わせて指数化しております。

	2011/1/25 期初	2012/1/25 決算日	2013/1/25 決算日	2014/1/27 決算日	2015/1/26 決算日	2016/1/25 決算日
基準価額 (円)	5,899	5,654	8,641	13,505	16,145	16,956
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	250	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 4.2	52.8	56.3	21.4	6.9
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 12.5	18.7	38.3	19.4	4.8
純資産総額 (百万円)	539	362	369	692	387	374

- ※ ベンチマークは「ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。
ベンチマークの詳細は、12ページの「指数に関して」をご参照ください。

■ 投資環境

当期の日本株式市場は6月までは好調に推移、7月以降は金融市場の混乱と回復を経て、2016年1月から下落基調となりました。結果として、ベンチマークであるラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)は前期末に比較して4.8%上昇し、当期を終えました。

期初から堅調な米国経済を牽引役に日本株式市場も6月までは、ほぼ一貫して上昇基調となりました。

7月に入って、中国株式市場の急速な下落や商品市況の下落を受け、世界中で投資家心理が冷え込んだことで、金融市場が下落に転じました。10月以降各国の金融政策への期待等から市場は反発、米国利上げ観測の高まりを受けた円安ドル高も追い風となり、日本株式市場は上昇基調を続けました。

期末にかけては、中国景気の減速懸念や更なる商品市況の下落が発生、金融市場は不安定な状況が継続しました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・M&S・ジャパン・ファンド >

当ファンドは、スパークス・日本中小型株・マザーファンド受益証券(以下、マザーファンド)を通じて、日本の中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行うことを基本とします。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

< スパークス・日本中小型株・マザーファンド >

当マザーファンドでは、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたします。また、市場における過度な悲観や関心の低下により、弊社が計測する長期的な企業価値に対して割安に放置されていると考える企業にも投資を行います。

当マザーファンドでは、あらかじめ業種毎の比率を決めてから銘柄を組み入れるのではなく、ボトムアップ・リサーチに基づき投資魅力が高いと考える銘柄を選別し、株価上昇余地やリスク要因、株式の流動性や株価が再評価されるまでの時間軸等を考慮して、ポートフォリオを構築しています。

当期においては、鉄鋼商社を営む小野建、建築資材を主体とし事業領域を拡大させている前田工織、ホンダ系の自動車部品メーカーであるジーテクトなどに投資を行いました。小野建は鉄鋼需要の回復とマージン改善、前田工織は新規事業である自動車ホイール事業の収益化、ジーテクトは多大な先行投資により苦戦した状況からの回復をそれぞれ期待しております。

一方、日産向けを主体とするゴム部品メーカーの鬼怒川ゴム工業、首都圏を中心に戸建・マンション分譲を営むオープンハウス、シンクタンクとITシステム開発を二本柱の事業として営む三菱総研などの株式を売却しました。3社とも、株価が上昇し企業価値を織り込んだと判断したことが要因です。

期末においては41銘柄を保有しています。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに貢献した主な銘柄は、オープンハウス、テンポスバスターズ、ジーテクトなどです。

オープンハウスは、首都圏を中心に戸建・マンション分譲を営んでいます。当マザーファンドでは、都心部マンション価格の上昇に伴う狭小地住宅の需要増加や、近年注力し始めた不動産流動化事業の収益寄与に期待し投資を行っています。同社業績は着実な成長を続けており、業績成長に伴い株価は上昇したと考えます。

テンポスバスターズは、中古厨房機器の販売に強みを持つ企業です。当マザーファンドでは、同社が業績停滞期を経て再成長フェーズに入ったと考え、投資を行っています。具体的には、中古厨房機器販売での高い競争力を活かして、顧客層及び提供商品・サービスを拡大することで成長を目指す戦略が、実際に事業の拡大に繋がり始めていると考えています。同社の業績は、消費税増税後も着実な伸びを見せていることから、株価は上昇したと考えます。

ジーテクトは、ホンダ系の自動車部品を製造する企業です。当マザーファンドでは、ホンダの海外展開に伴い先行投資を強いられていた状況からの回復余地は大きいと考え投資を行っています。今期に入り、北米の堅調な需要を背景に業績は回復、市場からの評価が高まったことを受け株価は上昇したと考えます。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、富士紡ホールディングス、日精エー・エス・ビー機械、ジャックスなどです。

富士紡ホールディングスは、繊維業を発祥とする企業で、現在は精密加工用途の研磨剤を利益柱に持つ企業です。当マザーファンドでは、研磨剤事業の成長余地を評価し投資を行っています。具体的には、微細化や3次元化などの同社に追い風となる技術変化に加え、一次研磨市場への参入が同社業績を牽引すると考えています。2016年3月期第1四半期の発表以降、顧客の在庫調整の影響により短期業績への懸念が高まったことから、株価は下落したと考えます。

日精エー・エス・ビー機械は、少量多品種に特徴を有するペットボトルの製造機械メーカーです。当マザーファンドでは、先進国、新興国ともにペットボトルの潜在市場は大きいと考え投資を行っています。発表された2015年9月期決算において、受注の減少が明らかとなり、成長鈍化懸念が高まったことで、株価は下落したと考えます。

ジャックスは、信販業界の大手企業です。同社はリーマン・ショック以降の個人消費低迷や、効率化投資やシステム開発投資等の費用増により利益が伸び悩んでいました。当マザーファンドでは、景況感改善による与信残高の着実な積み上がりを背景に、費用増を上回る業績成長が可能と考え、投資を行っています。発表された2016年3月期予想において、引き続き費用増が継続するとの見方により、業績成長への懸念が高まったことから、株価は下落したと考えます。

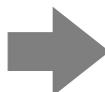
〔 組入上位10銘柄 〕

前期末(2015年1月26日)

	銘柄名	比率(%)
1	日精エー・エス・ビー機械	4.0
2	マルハニチロ	3.8
3	鬼怒川ゴム工業	3.7
4	日鉄住金テックスエンジ	3.7
5	テンポスバスターズ	3.6
6	D I C	3.4
7	藤森工業	3.3
8	富士石油	3.3
9	トッパン・フォームズ	3.3
10	オープンハウス	3.2

当期末(2016年1月25日)

	銘柄名	比率(%)
1	日精エー・エス・ビー機械	4.2
2	東洋紡	4.1
3	プレス工業	4.0
4	小野建	4.0
5	カプコン	3.7
6	藤森工業	3.4
7	センコー	3.4
8	パルコ	3.4
9	前田工織	3.1
10	三菱総合研究所	3.1



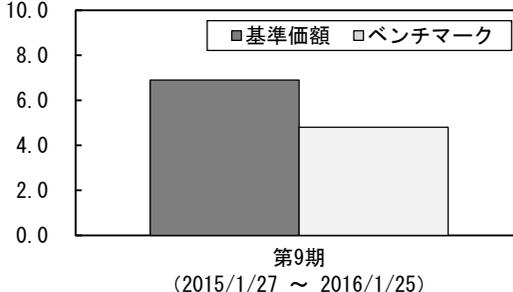
※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)

■ ベンチマークとの差異

当期の当ファンドの騰落率は6.9%となり、ベンチマークの騰落率の4.8%を上回りました。ベンチマークとの比較においては、業種単位ではマイナスに影響しましたが、個別銘柄単位ではプラスの影響となり、業種単位のマイナスをカバーしました。業種単位では電気機器、水産・農林業、情報・通信業などがプラスに、医薬品、小売業、輸送用機器などがマイナスに影響しました。

※ ベンチマークは、「ラッセル/ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

当ファンドの基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)(%)



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、分配対象額の水準等を勘案し、1万口当たり300円(税込み)とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税引前)

項 目	第9期 (2015年1月27日～ 2016年1月25日)
当期分配金 (対基準価額比率)	300 (1.74%)
当期の収益	—
当期の収益以外	300
翌期繰越分配対象額	6,955

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「-」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

< スパークス・M&S・ジャパン・ファンド >

スパークス・日本中小型株・マザーファンド受益証券の組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

< スパークス・日本中小型株・マザーファンド >

1月の株式市場は世界経済の減速懸念から大幅続落となり、相場の変動幅が高い状態が続いています。市場急落の中で投資家のリスク回避、ディフェンシブ銘柄選好の投資行動が続き、銘柄間格差は一段と広がっていますが、悲観の対象となっている銘柄の中には、中長期の企業価値に照らし大きく割安に評価されているものもあると考えています。

当マザーファンドでは短期的な市場動向に流されず、引き続き株価が実態価値を大きく下回ると考えられる企業を選別し、投資を行っていく方針です。徹底した個別企業の調査により、海外経済等の外部環境に不透明感がある中でも、個社要因による業績拡大が期待できる企業を発掘して参ります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

2015年4月25日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

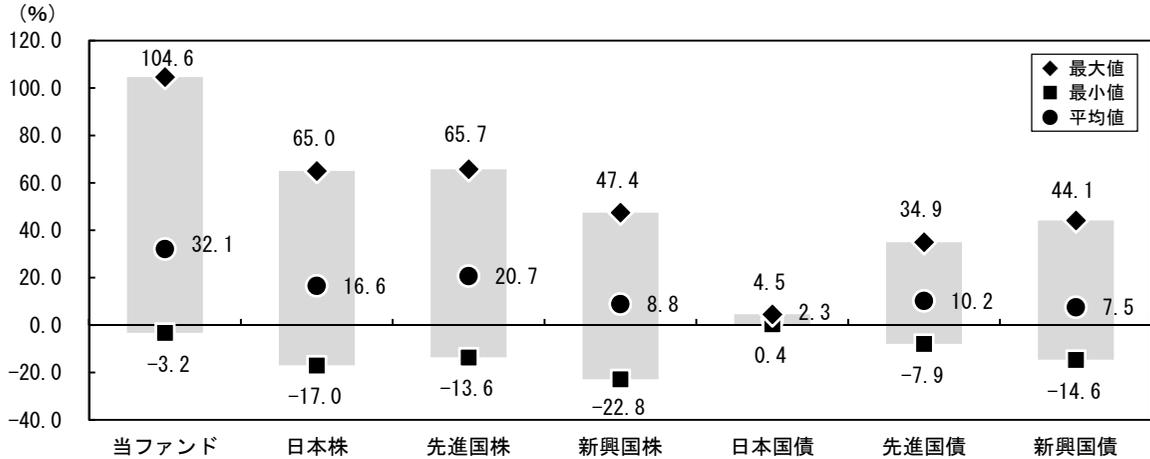
- ・デリバティブ取引等に係る投資制限を規定するため、所要の変更を行いました。
- ・信用リスク分散規制に係る所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信 託 期 間	2007年1月31日から2017年1月25日まで	
運 用 方 針	この投資信託は、主としてスパークス・日本中小型株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所上場株式を中心に投資を行い投資信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。	
主 要 投 資 対 象	当ファンド	主としてスパークス・日本中小型株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資します。また、資金動向・市況動向等によってはわが国の金融商品取引所上場株式等に直接投資することもあります。
	スパークス・日本中小型株・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<p>① 設定当初および大量の解約が発生した時等を除いて、主としてマザーファンドの受益証券への投資を通じて、以下の投資態度で臨みます。</p> <p>② 主として金融商品取引所上場株式の中小型株式の中から、徹底したボトムアップ・リサーチに基づいて銘柄を選択し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③ ベンチマークはラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)とし、これを上回る投資成果を目指して運用を行います。</p>	
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 	

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2011年1月末～2015年12月末)



(注1) 2011年1月～2015年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・シティ新興国市場国債インデックス(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は12ページの「指数に関して」をご参照ください。

当ファンドのデータ

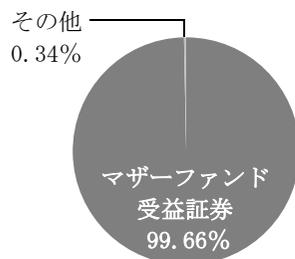
■ 組入資産の内容

(2016年1月25日現在)

< 組入ファンド >

ファンド名	第9期末
スパークス・日本中小型株・マザーファンド	99.66%
組入銘柄数	1ファンド

< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

■ 純資産等

項 目	第9期末 2016年1月25日
純資産総額	374,553,996円
受益権総口数	220,899,884口
1万口当たり基準価額	16,956円

(注) 当期中における追加設定元本額は148,978,112円、同解約元本額は168,206,981円です。

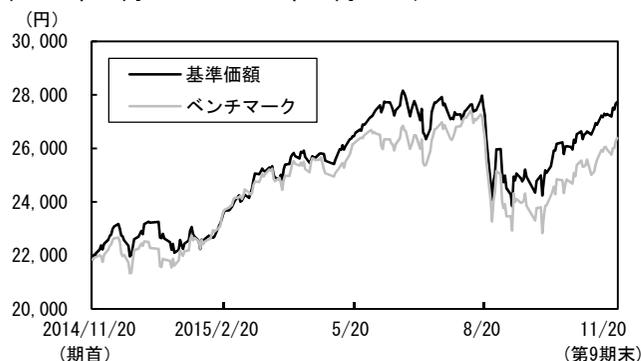
■ 組入上位ファンド(銘柄)の内容

(2015年11月20日現在)

【スパークス・日本中小型株・マザーファンド】

＜ 基準価額の推移 ＞

(2014年11月21日～2015年11月20日)



※ ベンチマークは期首(2014年11月20日)の基準価額に合わせて指数化しております。

＜ 組入上位10銘柄 ＞

	銘柄名	業種	比率(%)
1	小野建	卸売業	4.2
2	日精エー・エス・ビー機械	機械	4.1
3	センコー	陸運業	3.7
4	プレス工業	輸送用機器	3.7
5	ジーテクト	金属製品	3.6
6	藤森工業	化学	3.5
7	三菱総合研究所	情報・通信業	3.5
8	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム	サービス業	3.4
9	前田工織	その他製品	3.4
10	東洋紡	繊維製品	3.4
組入銘柄数		41銘柄	

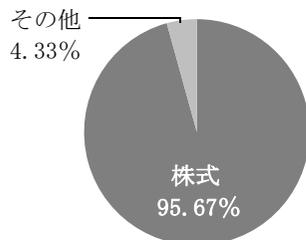
※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

＜ 1万口当たりの費用明細 ＞

項目	第9期 2014年11月21日～2015年11月20日	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	41円 (41)	0.16% (0.16)
合計	41	0.16

期中の平均基準価額は25,183円です。

＜ 資産別配分 ＞



＜ 国別配分 ＞



＜ 通貨別配分 ＞



(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2015年11月20日現在のものです。

(注2) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注3) 国別配分は、発行国を表示しています。

指数に関して

・ファンドのベンチマークである「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」について

ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)はRussell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura 日本株インデックスは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社及びRussell Investments に帰属します。なお、野村證券株式会社及びRussell Investments は、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

< 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時(1968年1月4日終値)の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

日本国債：NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社およびその許諾者に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLC により開発、算出、公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。また、Citigroup Index LLC は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス(円ベース)

シティ新興国市場国債インデックスは、Citigroup Index LLC により開発、算出、公表されている、主要新興国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。また、Citigroup Index LLC は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。



本ページは、スパークス・アセット・マネジメント株式会社からのお知らせです。

平成28年2月

受益者の皆さまへ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

「スパークス・M&S・ジャパン・ファンド(愛称：華咲く中小型)」
投資信託約款の変更(信託期間の延長)のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が設定・運用を行なっております追加型証券投資信託「スパークス・M&S・ジャパン・ファンド(愛称：華咲く中小型)」(以下「当ファンド」)につきまして、このたび、下記の通り、当ファンドの信託期間を10年間延長する投資信託約款の変更を行ないましたので、お知らせいたします。

本お知らせに関しまして、受益者の皆さまのお手続きは不要です。
なお一層のご愛顧を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. ファンド名称：「スパークス・M&S・ジャパン・ファンド(愛称：華咲く中小型)」
2. 投資信託約款の変更日(適用日)：平成28年2月26日
3. 投資信託約款の変更内容

(_____ 下線部分が変更箇所)

(変更後)	(変更前)
(信託期間) 第4条 この信託の期間は、信託契約締結日から平成39年1月25日までとします。	(信託期間) 第4条 この信託の期間は、信託契約締結日から平成29年1月25日までとします。

以上

< 本件にかかるお問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
リテールBD マーケティング部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：<http://www.sparx.co.jp/>